

市民1人当たりの予算約37万8千円の使い道

※今年1月1日現在の人口(605,637人)で計算

- 子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に約15万5千円
道路や公園、住宅などの整備に約6万2千円

- 市債の返済に約4万6千円
教育や文化の振興に約3万3千円
市議会や市の運営などに約3万3千円

- 環境や衛生の向上のために約2万7千円
商業・観光・農林水産業の振興に約1万3千円
消防・救急に約9千円

鹿児島市の家計簿

～一般会計当初予算を給与収入400万円の家庭に置きかえと～

家計と市の会計では、お金の使い道も規模も違うので、単純に比較できないところもありますが、一般会計当初予算額2,291億4,700万円を「鹿児島太郎さん」家族の家計に例えてみました。

収入の項目と金額の表。太郎さんの給与(市税・地方交付税・負担金など) 400万円、家族のアルバイトなどの収入(使用料・手数料など) 28万円、親・兄弟からの仕送り(国・県支出金) 183万円、銀行からの借金(市債) 91万円、貯金の取り崩し(繰入金) 15万円、合計 717万円

鹿児島家の収入チェック

太郎さんの給与のほか、家族がアルバイトなどをして収入の確保に努力しています。また、親や兄弟の仕事を手伝っているためその分の仕送りをもらっています。さらに臨時的な出費に限って銀行からの借金もしています。

今後は、親・兄弟からの仕送りが減っていくことが考えられます。将来の備えを考えて、貯金を下ろす額をできるだけ少なくし、給与やその他の収入を確保するために努力する必要があります。

支出の項目と金額の表。食費(人件費) 114万円、医療費(扶助費) 204万円、ローンの返済(公債費) 88万円、教育費や光熱水費など(物件費など) 140万円、家の増改築(投資的経費) 129万円、子どもへの仕送り(特別会計への繰出金など) 40万円、親戚への貸付金、貯金など 2万円、合計 717万円

鹿児島家の支出チェック

どうしても支払わなければならない食費やローンの返済などは、家計簿でこまめにチェックし、節約に努めています。ただ、家族の医療費が増え、給与収入の半分を占めるまでになりました。

子どもへの仕送りもありますが、家族が快適に暮らすためや、新幹線でやってくる大切なお客様をお迎えるために家の増改築なども工夫して行わなければならないかもしれません。

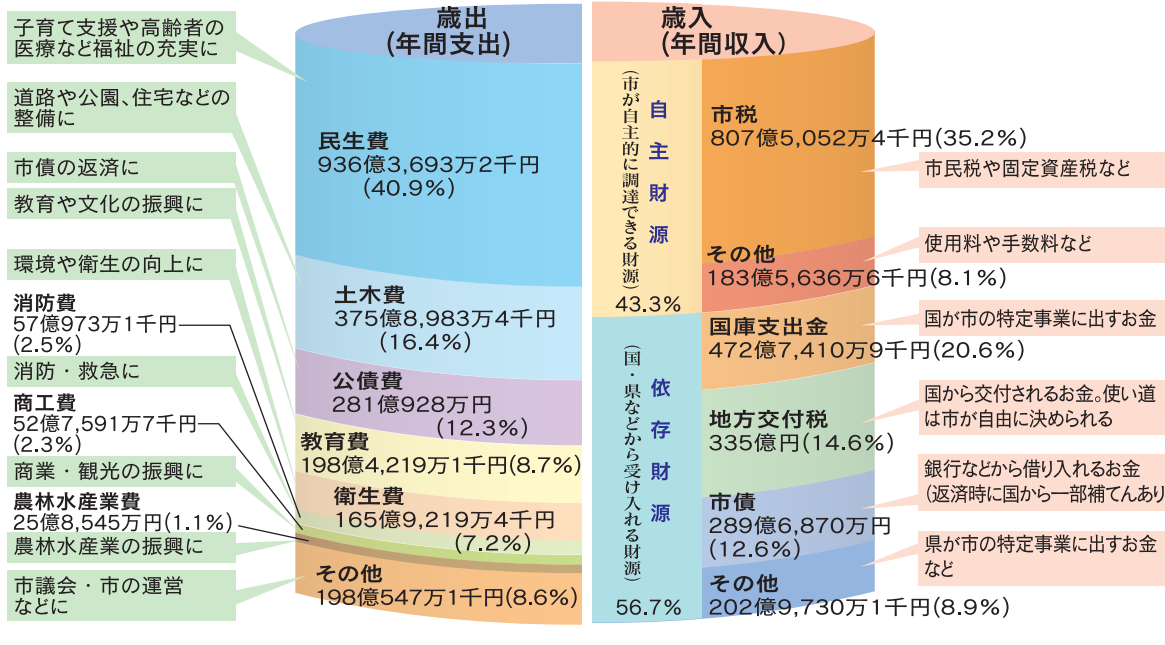
家族の医療費は今後も増えていくと予想されます。食費や光熱水費などを切り詰める努力が必要です。



平成23年度当初予算 新たなステージの幕開け 「新幹線・大交流元年」

一般会計当初予算額2,291億4,700万円の明細表。一般会計(通常の市政を行う経費) 2,291億4,700万円(4.3%増)、特別会計(特定の収入でその仕事の支出をまかなう会計) 1,060億4,800万円(3.3%増)、企業会計(地方公営企業の会計) 637億8,400万円(12.8%増)

一般会計当初予算額2,291億4,700万円



3. 未来を担う人づくりをみんなで ～次世代の育成と市民文化の振興～

- 子育て環境の充実
親子つどいの広場整備事業(2億189万3千円)
あったか家族推進事業(100万円)
次世代の育成
普通教室クーラー設置事業(7億1,267万5千円)
市民文化の振興
地域の魅力づくりプラン(文化関連)策定経費(721万6千円)

1. 新幹線・大交流をまちの力に ～にぎわい・活力の創出とホスピタリティの醸成～

- 観光都市鹿児島島の創造
桜島周遊バス事業(2,391万5千円)
かごしまプロモーションin上海(1,000万円)
2011年世界室内自転車競技選手権鹿児島大会開催事業(6,000万円)
「美味のまち鹿児島」魅力づくり事業(1,200万円)
にぎわい・活力の創出
新産業創出支援事業(1,245万8千円)
地域密着店舗連携支援モデル事業(200万円)

4. めくもり・安らぎを暮らしの中に ～安心・安全・快適な生活基盤の確立～

- きめ細かな保健・福祉施策の推進
第20回記念福祉ふれあいフェスティバル事業(1,184万8千円)
第25回記念長才まつり開催事業(1,400万3千円)
安心安全な地域社会づくり
住宅用火災警報器設置促進事業(7,697万9千円)
ドクターヘリ運航事業(7,229万1千円)
雇用の創出・確保
若年者等雇用促進助成事業(1,690万7千円)
IT人材育成事業(4,549万3千円)
快適な都市環境づくり
公共交通不便地対策事業(1億5,065万1千円)
錫山地区で乗合タクシーの運行を開始します

2. 潤い豊かな環境をあしたへ ～自然と調和した花と緑が彩るまちの創造～

- 花と緑が彩るまちの創造
全国都市緑化フェア開催事業(1億4,758万3千円)
天文館通1号線緑化整備事業(5,609万4千円)
新たなにぎわい、安らぎ、潤いを創出し、中心市街地の活性化を図るため、天文館通1号線に芝生を活用した緑化整備を行います
J T跡地緑地整備事業(12億8,333万4千円)
環境にやさしいまちづくり
かごしま環境未来館活用事業(8,093万4千円)
市民一人一人が環境問題を楽しく学び、環境に配慮した生活や行動ができるよう参加体験型の講座やイベントを実施します
甲斐川リバーフェスティバル開催事業(300万円)
コミュニティサイクル導入検討事業(1,700万円)

今年度の本市の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた当初予算は、3,989億7,900万円。うち一般会計当初予算は2,291億4,700万円と、前年度と比較し94億700万円増の過去最高の予算規模となりました。

平成23年度の当初予算のポイント

本市を取り巻く社会情勢は依然として厳しい状況にありますが、先月、待望の九州新幹線が全線開業し、本市発展にとっての強力な追い風が吹いています。今年度の当初予算は、このビッグチャンス...

- 【厳しい社会情勢】 〇少子高齢化問題 〇経済・雇用問題 〇地球環境問題 〇国・地方の厳しい財政状況
【ビッグチャンス】 九州新幹線全線開業

- ①資源の「オリジナリティ：独自性」を生かし、
②都市の「バイタリティ：活力」を結集して、
③まちの「アメニティ：快適性」を高め、
④市民の「ホスピタリティ：もてなしの心」に満ちあふれた、
感動のまち かがしまシティ(4ティ)

「人とみどりが輝くまち・かがしま」の創造に向けた5つの重点的取組項目

- 1. 新幹線・大交流をまちの力に
2. 潤い豊かな環境をあしたへ
3. 未来を担う人づくりをみんなで
4. めくもり・安らぎを暮らしの中に
5. 市民目線で市民とともに

一般会計歳入(収入)のポイント
歳入で最も多いのは市税で、法人市民税の増などにより、約9億円の増になったほか、子ども手当や生活保護費の増などに伴う国庫支出金が大増の伸びとなりました。
一般会計歳出(支出)のポイント
歳出で最も多いのは、子育て支援や生活保護費などに使われる民生費で、一般会計当初予算全体に占める割合が初めて40%を超えました。

23年度予算関係の経済・雇用対策

- 雇用対策 約13億4千万円
緊急雇用創出事業臨時特例基金事業(約6億4千万円)
ふるさと雇用再生特別基金事業(約3億6千万円)
都市公園パトロール事業や大島純アンテナショップ運営事業など77事業を実施し、411人の雇用を創出します
本市採用の嘱託員の増員(約3億4千万円) 151人増員
中小企業者への金融支援 融資枠約230億円
融資枠の拡大や創業支援資金の利用者に対する利子補給制度を引き続き実施するなど、金融支援を行います
公共事業 約401億9千万円
土地区画整理事業の推進や、道路、橋りょう、交通安全施設などを整備します
その他経済・雇用対策につながる事業 約20億6千万円